

私たちが創る 未来の福知山

ーなぜ？ 住民主体のまちづくりが必要なのかー

令和7年3月25日

福知山公立大学 木村昭興

本日の内容



- 1 「まちづくり」とは？
- 2 まちづくり条例
- 3 若者…
- 4 住みやすいまちにするために

1 | 「まちづくり」とは？

まちづくり？ 街づくり？ 町づくり？

➤ 「まちづくり構想 福知山」



本市では、2040年の本市をとりまく社会状況や住民生活を想定し、その世代の生き方や思い、本音を通して、人々が幸せを生きるための将来像をまとめ、そこから翻ってこれからのまちづくりの方向性を定めるために本構想を策定しました。

市民の皆様と行政が共にまちづくりについて話し合うことで、市民の皆様もまちづくりを「自分ごと」として考えていただきました。議論を通して、個人や地域ではどのような役割があるのかについても、身近なことから市全体に至る部分まで熱心に御議論いただき、懇談会のまとめとして、まちづくりを進めるための「市民から市民への提案」をいただきました。

まちづくり：369

まち：446

まちづくり？

➤ 「まちづくり構想 福知山」

まちづくりの究極の目標は、
そこに住む人々が幸せを実感できる世の中を形作っていくことです。

5頁

市民懇談会においても、2040（令和22）年の福知山市を舞台に、
一人ひとりの市民が幸福に暮らしていけるまちづくりの必要性が共有され、
「人とのほどよい距離感」「自分ごと感」「多様性の尊重」「意欲の支え」
などといった考え方が全体の方向性として出されました。

5頁

SDG's17の目標

➤ 2015年 国連総会 SDG's : Sustainable Development Goals



コミュニティの
創生

「持続可能な都市とコミュニティ (Sustainable Cities and Communities)

まちづくりは、行政のお仕事！

わたしたちは、納税者で
まちづくりは、行政のはず？



法律執行としての行政



当事者間の自由な行為

公権力の行使
(強制)

行政行為

根拠法令が必要！

- 課税処分
- 営業の許可・停止命令
- 道路の通行禁止



「都市計画」から「まちづくり」の時代へ

➤ 都市計画

- 法律や行政の制度に基づき、土地の利用、建物の配置、道路や公園の整備などを計画的に行うもの。
- 将来の都市のあり方を見据えて「**空間の整備**」に重点を置く。
(例：用途地域の指定、道路計画、公園の配置、防災対策 など)

➤ まちづくり

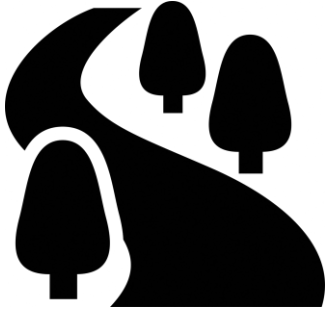
- 地域住民、事業者、行政などが協力しながら、地域の魅力や暮らしやすさを高めるための活動全般。
- 具体的なルール作りだけでなく「**人々の関わりやコミュニティの活性化**」を含む広い概念。
(例：商店街の活性化、地域イベントの開催、空き家対策 など)

「都市計画」と「まちづくり」の違い

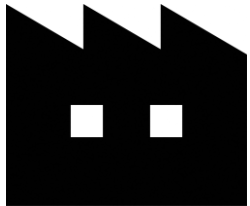
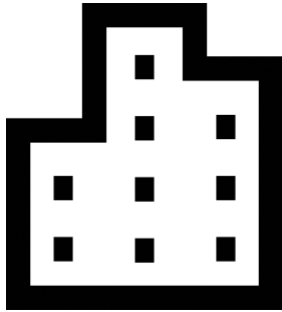
	都市計画	まちづくり
主 体	行政が主体 専門家の関わる	地域住民や地域団体、NPO、 事業者、行政など、多様な主体
視 点	法律や条例に基づく計画的な 活動	より柔軟で実践的な、具体的な 活動
姿 勢	性悪説の立つ管理	性善説に立つ運動
アプローチ	トップダウン	ボトムアップ
目指す水準	最低レベルを保証	最高レベルを目指す
住民の関わり方	住民参加	住民主体

クオリティ・オブ・ライフの追求

道路の建設



住宅団地の開発



工場の誘致



クオリティ・オブ・ライフ

- 女性の社会進出
- 地域の魅力
- 体験

2 | まちづくり条例

福知山市自治基本条例（2018年）

じ ち き ほん じょう れい

Q.「福知山市自治基本条例」って？

A. 福知山市のまちづくりにおける最も基本的なルールです。

Q.「まちづくり」って？

A. 住みやすいまちにするための活動のことです。

Q.そのルールって簡単にいうと？

A. 「まちづくり」を「みんな」で「いっしょに」行うことです。（協働によるまちづくり）

Q.「協働」って？

A. みんなが同じ目的のために協力し合うことです。

まちづくり

たとえばこんなこと

- 自治会や公民館の行事に参加する
- 地域の将来について話し合う
- 通学路で、地域の子どもたちを見守る
- もちろん、市政もまちづくりの一つです。

みんな

Q.「市民」って誰のこと？

A. 福知山市内に住んでいる人や通勤・通学する人、市内に事務所や事業所を有する人、市内で活動する団体のことです。

市民（第2章）

- 権利
 - ・まちづくりに参画することができる。
 - ・まちづくりについて学ぶことができる。
- 役割
 - ・積極的にまちづくりに参画する
 - ・みんなが気持ちよく生活できるよう、自分の周りの環境に配慮する。

いっしょに

Q.「参画」って？

A. できたものに関わるのではなく、つくるところから関わることです。

参画と協働（第7章）

みんなが一緒になって取り組むためには

- 自分の役割を意識すること
- 積極的に関わること
- よく話しあって理解し、認めあうこと

＝ が大切です。

自分のできることを考えてみよう

情報共有（第5章）

特に、情報をたくさん持っている市役所や市議会は、積極的に情報を発信することが求められます。

市議会（第3章）

- 役割
 - ・福知山の意思決定機関
 - ・市政を監視する。
 - ・市民の意見を市政に反映させる。
- 責任
 - ・開かれた議会運営を行う。
 - ・市政を調査し、政策提案を行う。

行政（第4章・第6章）

- 役割
 - ・公正で誠実に市政を運営する。
 - ・市民のための事業を行う。
- 責任
 - ・市政運営の方針を定め、その達成状況を市民と市議会に説明する。
 - ・職員は地域社会の一員であることを認識し、市民と連携してまちづくりに取り組む。

協働によるまちづくり

福知山市自治基本条例の全文を掲載した冊子は福知山市役所経営戦略課と各支所で配布しているほか、市ホームページからダウンロードしていただけます。

<http://www.city.fukuchiyama.kyoto.jp/shisei/cat159/cat565/>

＜福知山市役所経営戦略課 市民協働係＞

〒620-8501 福知山市宇治町12番地の1

TEL 077-3-23-6537

E-mail ketei@city.fukuchiyama.lg.jp

福知山市自治基本条例について、いつでもお問い合わせください。出前講座も随時承ります。

「平等」「公平」「公正」についての誤解

行政は『平等』だけでは不十分であり、個々の状況に応じた『公平』な対応が重要

行政は、

- 基本的な権利の保障 → 『平等』が重要
- 個々の事情に配慮した対応 → 『公平』が求められる
- 社会構造そのものの改善 → 『公正』が鍵となる

理想的には『平等』『公平』『公正』を
うまく組み合わせることができれば・・・

行政の限界



放置自転車で溢れる

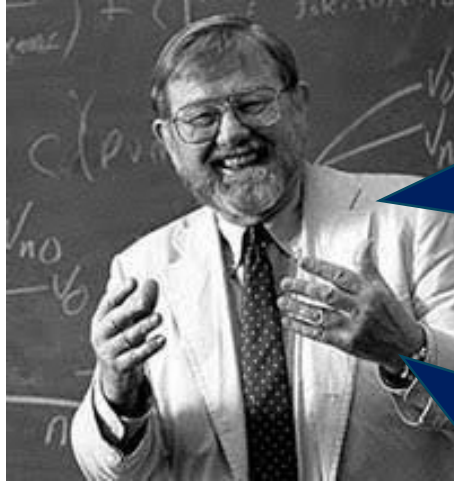
自己の利益を追求した結果、望ましい状態を達成できない



「集団行為問題」



集合行為問題



マンサー・オルソン

愛国心のエネルギー、民族的イデオロギーの訴え、共通文化の絆、法と秩序体系の不可欠性にもかかわらず、現代史におけるどの主要国家も自発的な納税あるいは分担金で自らを維持することはできなかった。

大規模組織において、費用を負担する人が一人いなくなっても、別の一人の費用負担者の負担を著しく増大しないであろう。だから、合理的人間は、例えば彼らが組織から離脱しても、そのことによって他者の同様の行動が引き起こされる、などと信じることはない。



フリーライダー
(集団の利益にタダ乗り)

福知山市自治基本条例（2018年）

市 民（第2章）

○権利

- ・まちづくりに参画することができる。
- ・まちづくりについて学ぶことができる。

○役割

- ・積極的にまちづくりに参画する
- ・みんなが気持ちよく生活できるよう、自分の周りの環境に配慮する。

行 政（第4章・第6章）

○役割

- ・公正で誠実に市政を運営する。
- ・市民のための事業を行う。

○責任

- ・市政運営の方針を定め、その達成状況を市民と市議会に説明する。
- ・職員は地域社会の一員であることを認識し、市民と連携してまちづくりに取り組む。

いっしょに

参画と協働（第7章）

みんなが一緒になって
取り組むためには

**自分の役割を
意識すること**

**積極的に
関わること**

**よく話しあって
理解し、認め
あうこと**

が大切です。

そのために情報を
共有し合おう

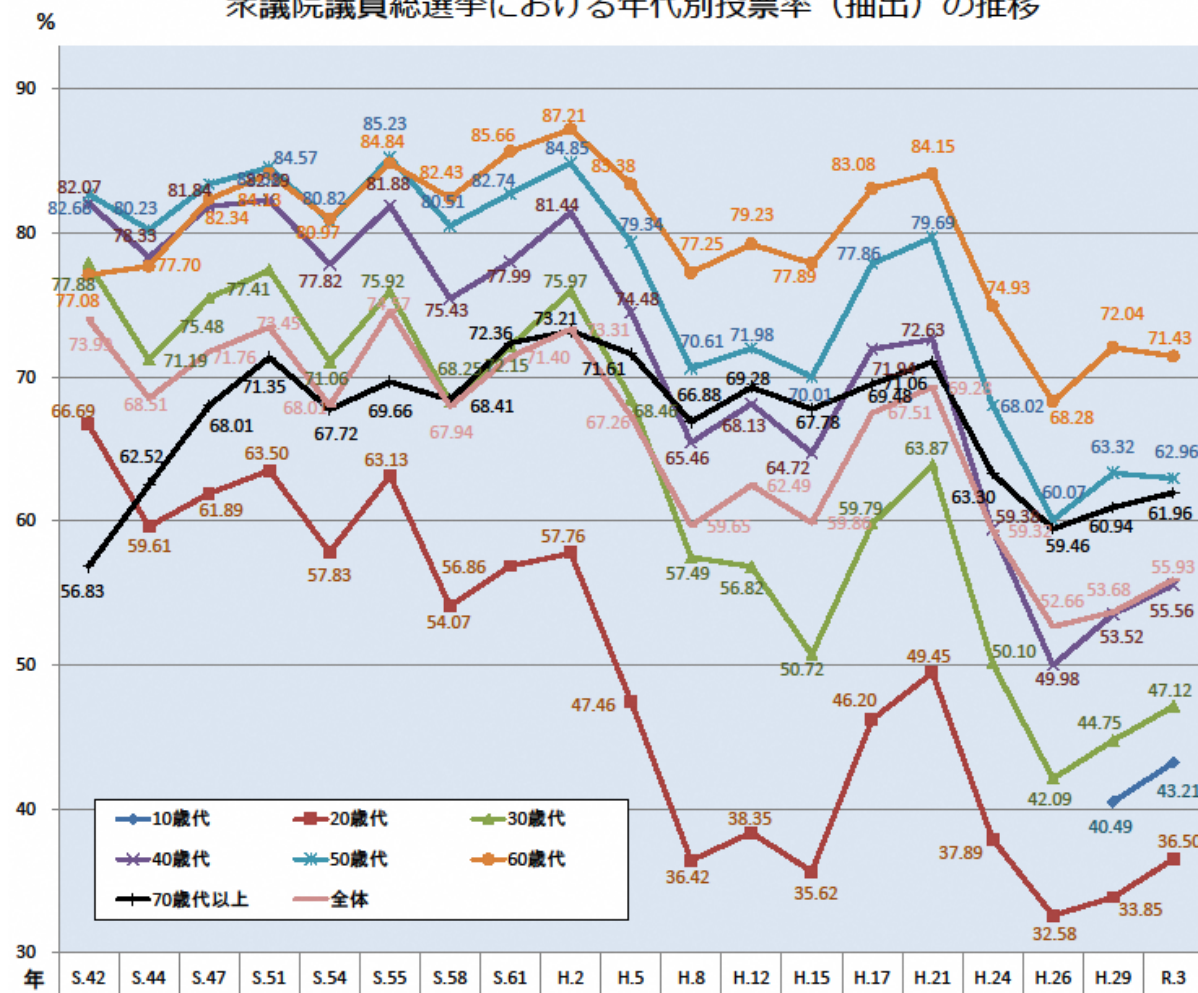
自分に
できることを
考えてみよう



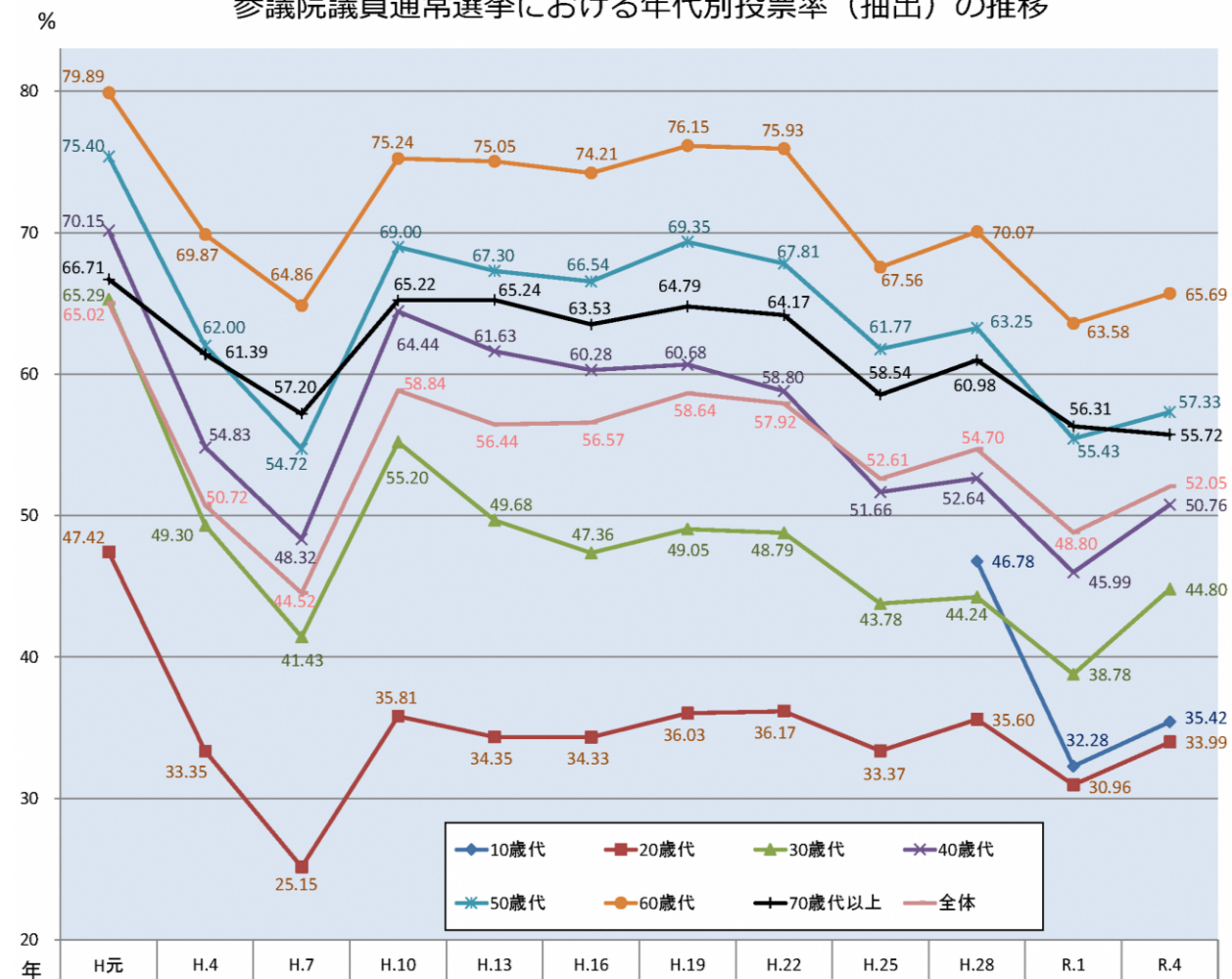
3 | 若者…

投票率

衆議院議員総選挙における年代別投票率（抽出）の推移



参議院議員通常選挙における年代別投票率（抽出）の推移



選挙に関する意識調査（満18～29歳 n = 3,150）

【表1】現在の生活に対する満足度

	18-19歳	20-24歳	25-29歳	全体
大いに満足している	19%	11%	5%	9%
だいたい満足している	56%	54%	51%	53%
やや不満足である	20%	28%	33%	29%
大いに不満足である	2%	7%	10%	8%
わからない	3%	1%	2%	2%
合計	100%	100%	100%	100%

【表2】現在の政治に対する満足度

	18-19歳	20-24歳	25-29歳	全体
大いに満足している	2%	1%	0%	1%
だいたい満足している	25%	24%	17%	21%
やや不満足である	37%	35%	43%	39%
大いに不満足である	16%	17%	24%	20%
わからない	21%	22%	16%	19%
合計	100%	100%	100%	100%

【表3】日本の政治家についての印象

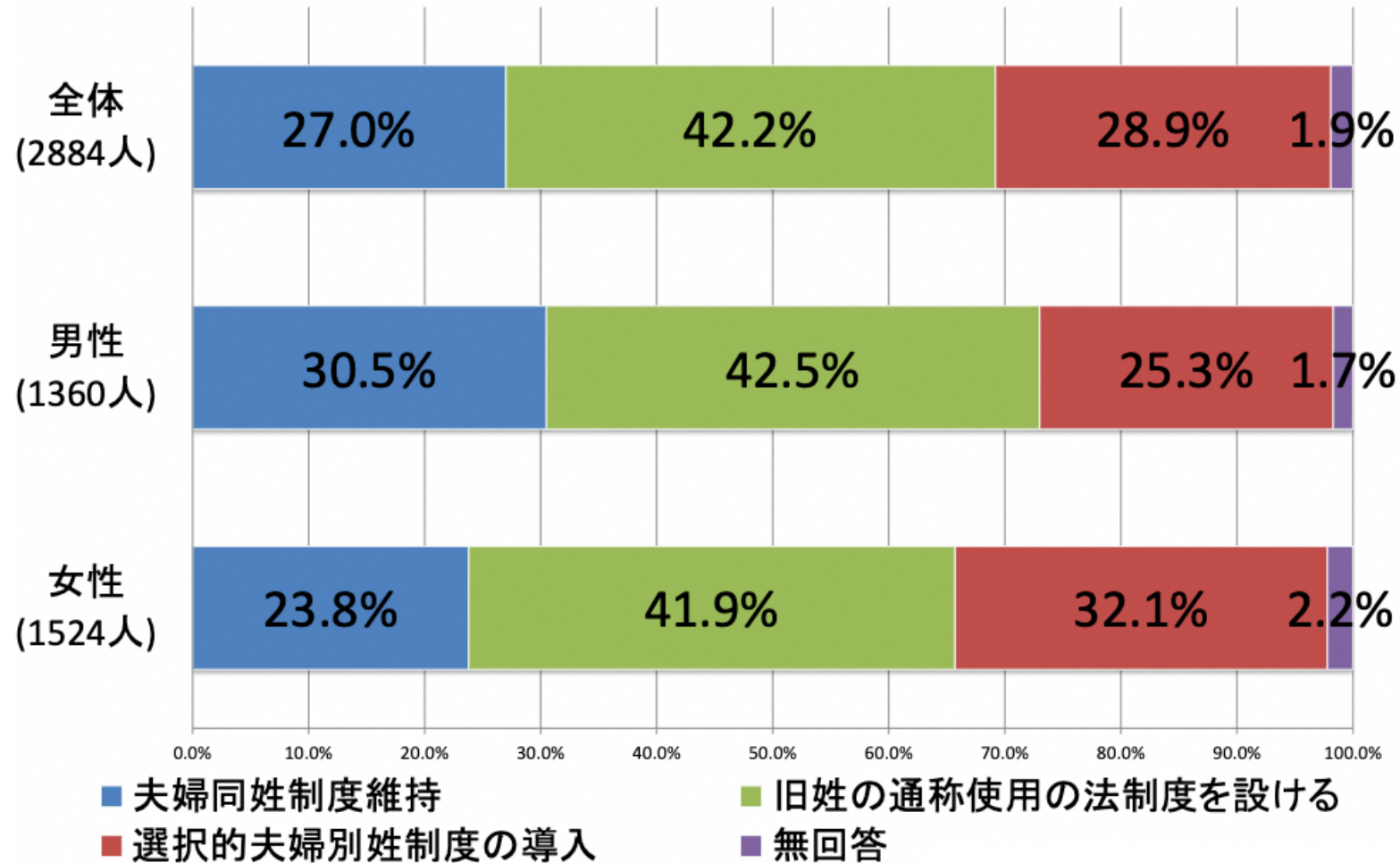
	18-19歳	20-24歳	25-29歳	全体
とても信頼できると思う	1%	1%	0%	1%
ある程度信頼できると思う	25%	23%	18%	21%
あまり信頼できないと思う	54%	52%	56%	54%
全く信頼できないと思う	10%	13%	20%	15%
わからない	10%	12%	7%	10%
合計	100%	100%	100%	100%

【表5-4】自分には政府のすることに対して、それを左右する力はない

	18-19歳	20-24歳	25-29歳	全体
そう思う	22%	31%	31%	30%
どちらかといえばそう思う	39%	38%	36%	37%
どちらかといえばそうは思わない	12%	13%	15%	13%
そうは思わない	22%	12%	14%	14%
わからない	5%	6%	5%	6%
合計	100%	100%	100%	100%

選択的夫婦別姓制度の世論調査

全体・性別



4 | 住みやすいまちにするために

住みやすいまちにするために

- ✓ 「顧客民主主義」「おまかせ民主主義」
- ✓ 国や地方自治体の活動に対して、住民は「顧客」でない
- ✓ 行政に仕事を委託しているにすぎない
- ✓ 「補完性の原理」を基盤とした官民協働社会

政策決定は、それにより影響を受ける市民・コミュニティにより近いレベルで行われるべきだという原則



- ① 自助：個人でできることは個人で解決する
- ② 共助：地域の人たちと協力して解決する
- ③ 公助：自治体の助けを借りて解決する

住みやすいまちにするために

福知山市自治基本条例

「福知山市自治基本条例」とは、このまちに住む人や関わる人みんなが「まちについて考え、話しあい、行動する」とともに、「共に支えあい、助けあい、学びあう」ことで、よりよりまちを創造するため、このまちの最も基本的なまちづくりのルールとして定められた条例です。（平成29年3月29日制定、平成30年4月1日施行）

Thanks

ご静聴ありがとうございました

福知山公立大学 地域経営学部 木村昭興
kimura-akinori@fukuchiyama.ac.jp